北海道開発局長記者会見資料 令和2年2月12日

北海道開発局におけるウポポイ関連の取組状況について







北海道開発局におけるウポポイ関連の取組状況について



「世界の北海道」を目指して

一北海道総合開発計画一

国土交通省北海道開発局は、2020年4月24日に一般公開し、年間来場者数100万人を目指す「民族共生象徴空間(ウポポイ)」に関して、内閣官房、北海道、アイヌ民族文化財団等の関係機関と連携し、施設の整備、誘客促進に向けた広報活動、アクセスの改善等を鋭意進めております。今般、改めて北海道開発局におけるウポポイ関連の主な取組の状況をご紹介します。

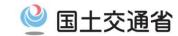
(誘客促進に向けた広報活動)

内閣官房、北海道、アイヌ民族文化財団等関係機関と連携し、ウポポイのPRに取り組んでいるほか、当局関連施設を活用したPRを積極的に推進。

(施設の整備)

伝統的コタン(集落)が完成。主要な建物本体は、昨年内に完成。以降、管理運営法人であるアイヌ民族文化財団により開業前のリハーサル等が実施される予定。

北海道開発局のウポポイPRの取組



「世界の北海道」を目指して

一北海道総合開発計画

〇北海道開発局では、ウポポイの年間来場者数100万人を目指し、一般利用者の多い当局関連施設等を活用した PRを展開するとともに、NEXCO東日本・北海道庁・アイヌ民族文化財団等関係機関と連携しつつ積極的な取組を 展開しています。

北海道開発局・NEXCO東日本関連施設でのPR (道の駅、高速道路のSA・PA)

多くの方が訪れる当局関連施設等において、ウポポイのPRポスターや チラシを設置し、認知度向上や機運醸成に向け取り組みを実施中



全道124箇所の道の駅において、 ポスター掲示・チラシ設置中



全道42箇所(上下線計)のSA・PAにおいてデジタルサイネージを使用したPR

道路上におけるPR

関係する道路管理者の協力を得て、札幌、室蘭から白老に向かう国道、道道 及び高速道路において、ウポポイへの案内標識や看板を設置するとともに、 高速道路上の跨道橋に横断幕を設置。



国道、道道及び高速道路においてウポポイの案内標識や看板を設置(79筒所)



高速道路の跨道橋(8箇所)に誘導と PRのための横断幕を設置

日本旅行業協会をウポポイにご案内

1月30日~31日、日本旅行業協会の会員である大手旅行会社各社の 経営層の皆様をウポポイ現地視察にご案内し、旅行客のウポポイ来場に 向けて積極的なご協力を要請



国立アイヌ民族博物館の展示室を視察



視察後の意見交換

2020ふゆトピア・フェア inとまこまい でのPR

1月23日~24日に行われたふゆトピア・フェアにおいて、ウポポイの整備状況をパネルで紹介し、アイヌ文化やウポポイの魅力をPR

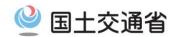


ウポポイ内施設の整備経過をパネルで紹介



ウポポイPRキャラクター「トゥレッポん」 が登場し、来場者へPR

『ウポポイ』の情報提供について





「世界の北海道」を目指して

一北海道総合開発計画

○ 2月13日から、ウポポイ近隣地域の一般国道の道路情報板(134基) にて、安全運転を呼びかけるとともに、ウポポイの認知度向上を目的に ウポポイのPRを実施

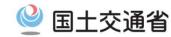
道路情報板の表示箇所 ※通行規制実施時等においては、予告なく 表示箇所や内容が変更となります。 道路情報板による情報提供実施国道 道路情報板

道路情報板の表示例(交互表示)





ウポポイの整備状況について



令和2年2月7日完成

令和元年12月26日完成

チセ(家)を再現し、伝統的儀式等

を体験できる空間

駐車場

バスの乗降所 バス待機スペース 3台

一般車両用駐車場 246台



「世界の北海道」を目指して

一北海道総合開発計画-

中核区域整備状況全体図



令和2年3月末完成予定

令和2年3月末完成予定

ポロト湖への眺望を設け、自然景観

高さ3mの壁で視界を制限し、印象

飲食や買物ができ、心地よい外の空間

で来園者をお迎えする演出

2 いざないの回廊

的な空間を演出

3 歓迎の広場

で賑わいを演出

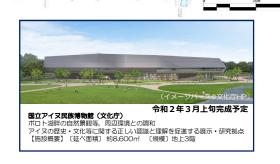
1 展望広場

令和2年2月7日チセ(アイヌの伝統的な家屋)4棟が完成。 このほか1棟の整備は、建築過程の公開を目的として、ウポポイオープン 後に行う予定。



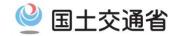








ウポポイの整備状況について



消防施設

「世界の北海道」を目指して

一北海道総合開発計画一

■伝統的コタン

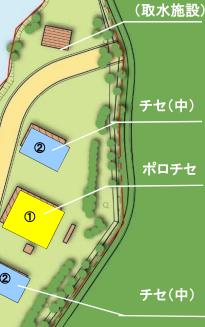
チセ群や畑等による伝統的コタンを再現し、伝統的生業(狩猟・漁労・採集・料理等)、伝統的儀式、建築(チセ等)に関する伝承活動、体験交流活動等に活用するとともに、空間全体としてアイヌの伝統的な生活空間を体感できる施設。







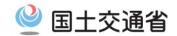






管理運営施設

ウポポイの整備状況(参考)





「世界の北海道」を目指して

一北海道総合開発計画一





体験交流ホール(外観)



体験交流ホール(内観)



体験学習館



工房



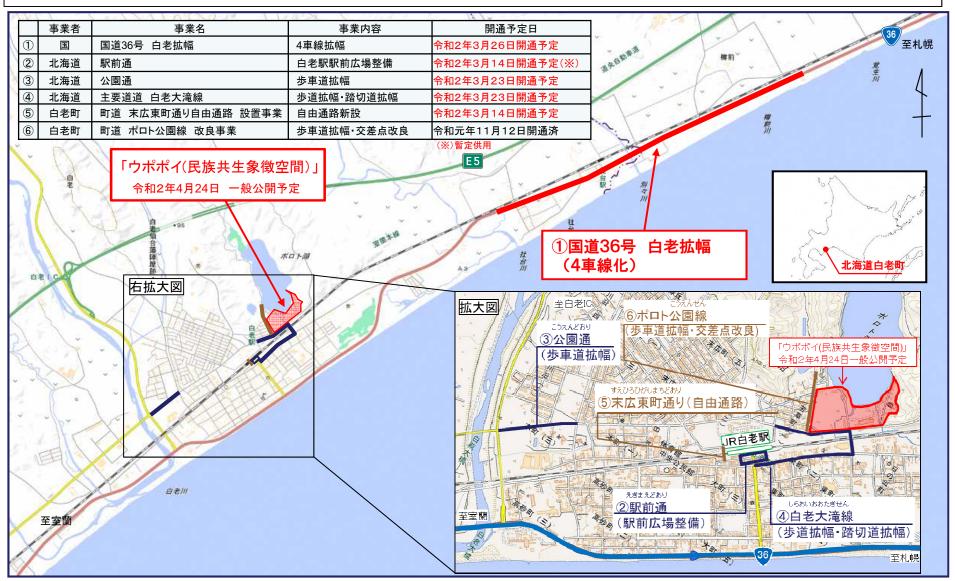
エントランス棟



(参考)民族共生象徴空間(ウポポイ) アクセス道路 開通予定日

令和2年1月21日 北海道開発局室蘭開発建設部・北海道胆振総合振興局・白老町 記者発表資料より抜粋

〇令和2年4月24日に一般公開予定のウポポイ(民族共生象徴空間)への交通アクセス改善を図る6つの道路整備を各事業連携しながら実施しています。



ウポポイへの年間100万人の来場を目指して 令和元年度にアクセス道路が開通します (令和2年4月24日 一般公開予定) 新千歳空港・全道各地 ウポポイ からのアクセス改善 民族共生象徵空間 令和2年3月26日開通予定 ①国道36号 白老拡幅(4車線拡幅) 令和2年3月23日開通予定 ④白老大滝線(歩道拡幅·踏切道拡幅) 令和元年11月12日開通済 【北海道】 令和2年3月14日開通予定 ※イラストは、各事業の完成イメージ図です 【白老町】